

地震 ゆれやすさマップ

はじめに

茨木市では、平成30年6月18日、午前7時58分に大阪府北部を震源とする地震が発生し、震度6弱・マグニチュード6.1の強い揺れに襲われました。この地震によって、尊い人命が失われ、多くの方が被災しました。また、同年9月6日には北海道胆振東部地震が発生し、この地震においても、多くの方が被災されました。

近い将来、高い確率で発生することが予測されている南海トラフ地震では、甚大な被害が想定されており、本市は南海トラフ地震の防災対策推進地域に指定されています。

このような大地震から命を守り、被害を軽減するためには、個人・家族(自助)、地域(互助・共助)、行政(公助)が連携し、防災の取組みを進めることが必要不可欠であると再確認されました。

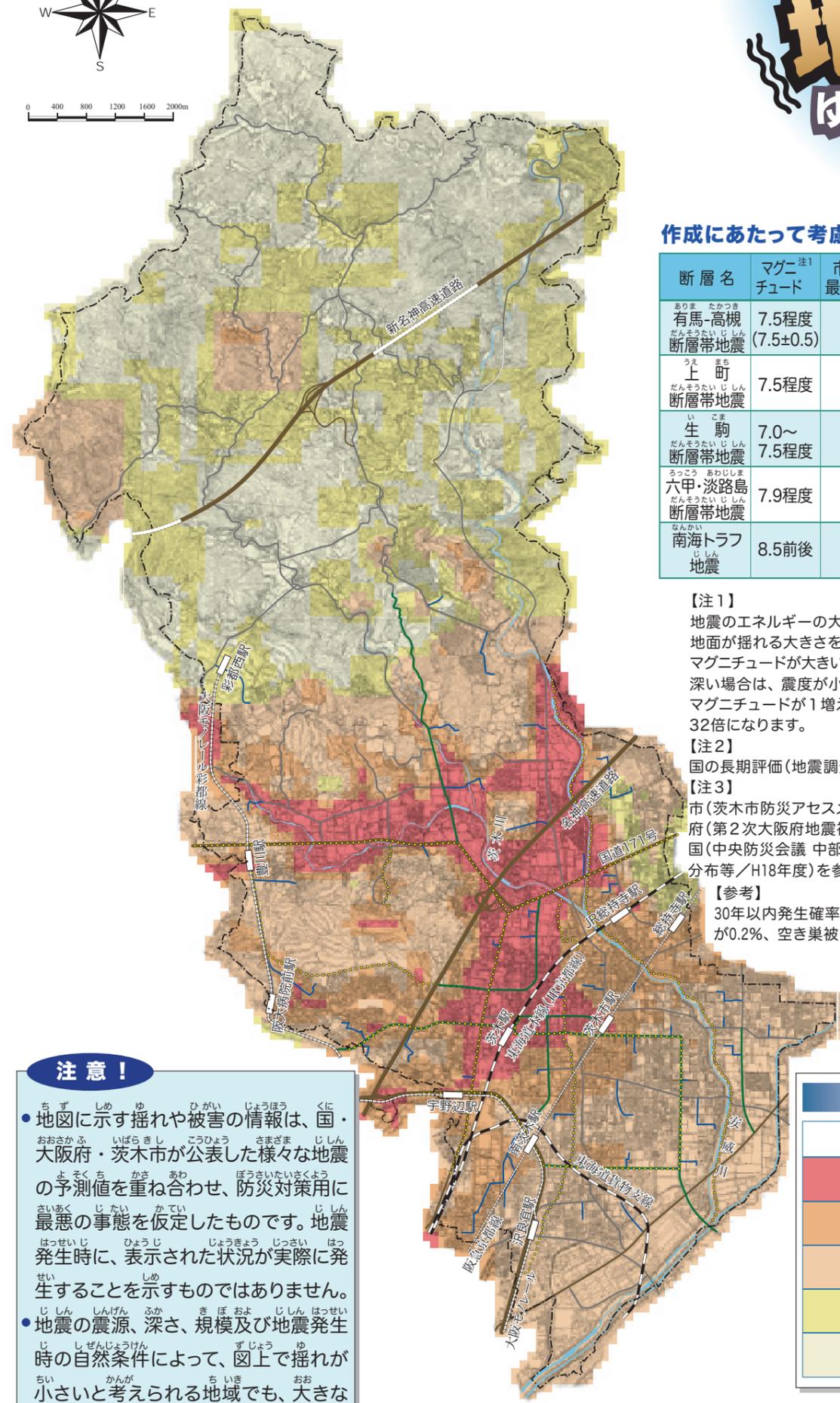
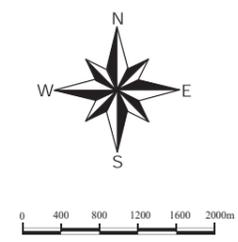
この防災マップは、地震発生時の震度予測ならびに避難所など災害時に必要な情報を記載したもので、日頃から地震に対する認識を深め、その対応を事前に準備していただくことにより、地震時の被害を最小限にとどめることを目的として作成いたしました。

地震発生時に、表示されたとおりの状況が実際におこることを示すものではありませんが、まずは知っていただくことが備えへの第一歩ですので、ご家族、ご近所や地域で備えるために幅広くご活用ください。

令和3年(2021年)1月
茨木市

もくじ

- 地震ゆれやすさマップ(市内全域) 1 P
- 地震ゆれやすさマップ(市内8分割) 2~17 P
- 地域の危険度マップ[家屋の倒壊危険度]市内2分割(北部)(南部) 18~21 P
- 地域の危険度マップ[人的被害の危険度]市内2分割(北部)(南部) 22~25 P
- 地震の備え家庭メモ
- [緊急地震速報を知っていますか?][情報伝達の経路][地震による火災を防ぐために]..... 26 P
- [避難時の留意点][被害を防ぐポイント]..... 27 P
- [誰でもできるわが家の耐震診断] 28 P
- [広域避難地・一時避難地・指定避難所一覧表] 29 P
- [防災便利帳][災害用伝言ダイヤル171][おおさか防災ネット] 30 P
- [茨木市地図情報サイト][耐震改修等に係るお問い合わせ]



作成にあたって考慮した想定地震

| 断層名 | マグニチュード ^{注1} | 市内最大震度 | 30年以内発生確率 ^{注2} | 出典 ^{注3} |
|-------------|-----------------------|--------|-------------------------|------------------|
| 有馬-高槻断層帯地震 | 7.5程度(7.5±0.5) | 7 | ほぼ0%~0.04% | 市・府 |
| 上町断層帯地震 | 7.5程度 | 6強 | 2%~3% | 府・国 |
| 生駒断層帯地震 | 7.0~7.5程度 | 6強 | ほぼ0%~0.2% | 府・国 |
| 六甲・淡路島断層帯地震 | 7.9程度 | 6強 | ほぼ0%~1% | 府 |
| 南海トラフ地震 | 8.5前後 | 6弱 | 70%~80% | 府 |

【注1】地震のエネルギーの大きさをマグニチュードと呼び、地面が揺れる大きさを震度と呼びます。マグニチュードが大きい地震でも、震源が遠い場合や深い場合は、震度が小さくなります。マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーは約32倍になります。

【注2】国の長期評価(地震調査研究推進本部R6.1)による。

【注3】市(茨木市防災アセスメント調査/H8年度)府(第2次大阪府地震被害想定調査/H18年度)国(中央防災会議 中部圏・近畿圏の内陸地震の震度分布等/H18年度)を参考に推計しました。

【参考】30年以内発生確率は、統計学的には、交通事故死が0.2%、空き巣被害が3.4%といわれています。

注意!

- 地図に示す揺れや被害の情報は、国・大阪府・茨木市が公表した様々な地震の予測値を重ね合わせ、防災対策用に最悪の事態を仮定したものです。地震発生時に、表示された状況が実際に発生することを示すものではありません。
- 地震の震源、深さ、規模及び地震発生時の自然条件によって、図上で揺れが小さいと考えられる地域でも、大きな揺れが生じることも考えられます。

| 凡 例 | |
|-----------|------|
| 計測震度 | 震度 |
| 6.50~ | 震度7 |
| 6.25~6.49 | 震度6強 |
| 6.00~6.24 | |
| 5.75~5.99 | 震度6弱 |
| 5.50~5.74 | |

地図の背景には、1/10,000地形図(H18年度)を使用しています。